

Quick Search

Advanced Search

Number Search

Last result list

My patents list

Classification Search

Get assistance

Quick Help

- » Why are some tabs deactivated for certain documents?
- » Why does a list of documents with the heading "Also published as" sometimes appear, and what are these documents?
- » What does A1, A2, A3 and B stand for after an EP publication number in the "Also published as" list?
- » What is a cited document?
- » What are citing documents?
- » What information will I find if I click on the link "View document in the European Register"?
- » Why do I sometimes find the abstract of a corresponding document?
- » Why isn't the abstract available for XP documents?
- » What is a mosaic?

TELEVISION BROADCASTING RECORDER

Publication number: JP1212986

Publication date: 1989-08-25

Inventor: AOKI YUTAKA

Applicant: FUJITSU GENERAL LTD

Classification:
- International: H04N5/765; H04N5/91; H04N5/765; H04N5/91;
(IPC1-7): H04N5/91

- European:

Application number: JP19880037813 19880220

Priority number(s): JP19880037813 19880220

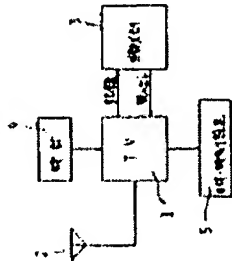
View INPADOC patent family

View list of citing documents

Report a data error here

Abstract of JP1212986

PURPOSE: To simply retrieve an arbitrary program and to reproduce it by providing an external memory capable of recording the contents of the broadcasting of a specific channel received by a television receiver for a prescribed time, adding an index to the contents of the broadcasting and updating and recording them by said external memory. **CONSTITUTION:** The channel of the television receiver 1 is fixed to one specific channel and the external memory 3 is set to a recording mode, and then, the data of the picture and the sound of the broadcasting of said channel is recorded on the external memory 3 together with a data and time inputted from a clock 4. In case of reproducing, after the external memory 3 is set to a reading mode, for instance, the television program column of the like such as a newspaper is viewed to input the data of the data and the time (data at the time of starting the program) when a desired program is broadcasted from a date and time setting part 5, and then the data of said date and time is transferred to the external memory 3 as a retrieving code to start the reading of a succeeding part from the part corresponding to said data. Thereby, a reproduction is carried out in the television receiver 1 based thereon.



1A 1B 1C 1D 1E 1F 1G 1H 1I 1J 1K 1L 1M 1N 1O 1P 1Q 1R 1S 1T 1U 1V 1W 1X 1Y 1Z

1A 1B 1C 1D 1E 1F 1G 1H 1I 1J 1K 1L 1M 1N 1O 1P 1Q 1R 1S 1T 1U 1V 1W 1X 1Y 1Z

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑫ 公開特許公報(A) 平1-212986

⑤ Int.Cl.⁴

H 04 N 5/91

識別記号

庁内整理番号

L-7734-5C

⑬ 公開 平成1年(1989)8月25日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

⑭ 発明の名称 テレビ放送記録装置

⑰ 特 願 昭63-37813

⑱ 出 願 昭63(1988)2月20日

⑲ 発 明 者 青 木 豊 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑳ 出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

㉑ 代 理 人 弁理士 長尾 常明

明 細 書

1. 発明の名称

テレビ放送記録装置

2. 特許請求の範囲

(1). テレビ受信機と、該テレビ受信機で受信した特定チャンネルの放送内容を所定時間記録可能な外部メモリとからなり、該外部メモリに上記放送内容をインデックスを付加して更新記録させるようにしたことを特徴とするテレビ放送記録装置。

(2). 上記インデックスが、日付・時刻データであることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のテレビ放送記録装置。

(3). 上記インデックスが、当該番組の内容を示すタイトルであることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のテレビ放送記録装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、テレビ放送の内容をその放送終了の後に任意に再生することができるようにした装置に関する。

(従来技術)

テレビ放送の番組内容を記録できる装置として、VTR(ビデオテープレコーダ)があり、任意の時間に再生することができ、極めて便利である。

(発明が解決しようとする課題)

ところが、このVTRは放送の内容を記録するのみであり、従って複数の番組内容を記録した場合は、後に再生する場合に、希望する番組を検索する作業に手間取る場合が多い。

本発明の目的は、番組検索を極めて簡単にしたテレビ放送記録装置を提供することである。

(課題を解決するための手段)

このために本発明は、テレビ受信機と、該テレビ受信機で受信した特定チャンネルの放送内容を所定時間記録可能な外部メモリとからなり、該外部メモリに上記放送内容をインデックスを付加して更新記録させるようにした。

(実施例)

以下、本発明の実施例について説明する。第1図はその一実施例のブロックを示す図である。1

はテレビ受信機であり、アンテナ2から取り込んだテレビ放送の番組内容を再生する機能を持つ。3は消去再記録可能でエンドレスに記録できる外部メモリである。この外部メモリとして、VTR、垂直磁化VTR、書き換え可能な光ディスクその他を利用できる。4は時計であり、外部メモリ3への記録画像データに日付・時刻データを付加するためのものである。5は日付・時刻設定部であり、検索部として働く。

さて、この実施例では、テレビ受信機1のチャンネルを特定の1個のチャンネルに固定しておき、外部メモリ3を記録モードにセットしておけば、その外部メモリ3に当該チャンネルの放送の画像及び音声のデータが時計4から入力する日付・時刻データと共に記録されてゆく。そして、その外部メモリ3の容量一杯まで記録されると、最初の記録領域から既記録の内容を消去しながら新たな記録が行われる。これによりエンドレスに記録が行われる。よって、例えば外部メモリ3の容量を1週間分としておけば、その外部メモリ3には絶

えず最も新しい1週間分のテレビ番組の内容が記録されていることになる。

再生する場合には、外部メモリ3を読み出しモードにセットした後に、例えば新聞等のテレビ番組欄等をみて日付・時刻設定部5から希望する番組が放送された日付・時刻のデータ(番組開始時点のデータ)を入力すると、当該日付・時刻のデータが検索コードとなって外部メモリ3に転送され、当該データに対応した部分から後の部分の読み出しが開始される。よって、これに基づいてテレビ受信機1で再生が行われる。

第2図はこの再生の模様を示す図である。例えば時刻Taのデータを日付・時刻設定部5から入力すると、番組aの頭から再生が開始し、時刻Tbのデータを同様に入力すると番組bの頭から再生が開始し、時刻Tcのデータを同様に入力すると番組cの頭から再生が開始する。

なお、上記において日付・時刻データは再生される必要はないので、適宜処理回路でそのデータを除去した後に再生を行わせるようにする。

また、上記では日付・時刻データを番組検索のインデックスとしたが、番組のタイトルがデータとして放送局から送られてくるような場合には、そのタイトルをインデックスとして記録しておき、再生時のそのタイトルを検索して希望の番組を再生させるようにすることができる。この場合には、新聞の番組欄等をみなくても、タイトルのみを集中再生させてメニュー方式により検索することができる。

第3図はこの例の説明図であり、最初のメニューでは「8#」をキーインすることにより、メニューが変化して「音楽」のメニューに変わる。そこで希望する歌手のコードを例えば「*5#」でキーインすると、「ミルズ・ブラザーズ」の番組(30分)が再生されることになる。

なお、上記では1個のチャンネルについてのみの場合を説明したが、テレビ受信機に複数チャンネル同時受信が可能のように複数のチューナ及び信号処理部を設け、外部メモリも同様に複数チャンネル分を記憶可能な容量に設定すれば、複数チ

ャンネル分について事後検索や再生が可能となる。(発明の効果)

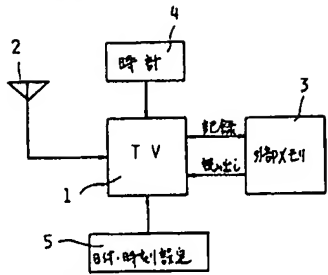
以上のように本発明によれば、比較的長時間に亘って放送された複数番組の内容から、任意の番組を簡単に検索して再生することができるという特徴がある。

4. 図面の簡単な説明

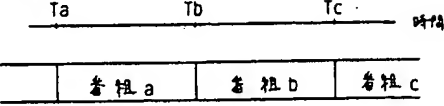
第1図は本発明の一実施例のテレビ放送記録装置のブロック図、第2図はその検索説明図、第3図は別の例の検索説明図である。

代理人 弁理士 長尾 常明

第 1 図



第 2 図



第 3 図

